# 会 議 録

| 会 | 議の名 | 称 | 令和元年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業<br>運営委員会(第2回)  |
|---|-----|---|---|
| 開 | 催日  | 時 | 令和元年11月22日(金)<br>午前10時から午前11時10分まで  |
| 開 | 催場  | 所 | 市役所第二庁舎1階 会議室1  |
| 出 | 席   | 者 | 金糸川川城原 東田 大田  |
| 事 | 務局職 | 員 | 生涯学習スポーツ課 小糸副課長、藤田主任、天倉主任<br>向山主事、福田主事、武嶋   |
| 会 | 議 内 | 容 | <ol> <li>開会</li> <li>挨拶</li> <li>議事         <ul> <li>(1) 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について</li> <li>(2) 子どもの放課後居場所づくり事業アンケート実施及び結果について</li> <li>(3) 新規開設校について</li> <li>(4) その他</li> </ul> </li> <li>4 閉会</li> </ol> |

| 会  | 議      | 資      | 料      | ・次第資料<br>・委員名簿 |
|----|--------|--------|--------|----------------|
| そ必 | の<br>要 | 他<br>事 | の<br>項 | 特になし           |

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

- 1 開会(天倉主任)
- 2 挨拶(金子教育長)
  - 役員変更による新委員 糸川麻衣子氏の紹介
- 3 議事(運営委員会設置要綱第7条により金子委員長が議事進行)
  - (1) 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について資料 1 (説明:藤田主 任)
    - ・ 登録者数は、ココフレンド全体では在籍児童の4割から6割が登録している状況である。前年度同月と比較すると、新堀ココフレンド及び新開ココフレンドでは20名以上、東野ココフレンド及び大和田ココフレンドでは40名以上増加している。
    - ・ 放課後児童保育室との二重登録の児童は、これまでどの学校も1割程度 だったが、今年度は東野ココフレンド及び新堀ココフレンドで約2割に なっている。
    - 日々の参加状況は、ココフレンドによって差が大きく、平均20名~70名である。
    - ・ 東野ココフレンド及び大和田ココフレンドは、10月末までの延べ参加 人数が前年度と比較して1,000名以上増加しており、1日当たり10 名前後増加していることになる。
    - ・ 今年度の夏休みから午後も開室している野寺ココフレンド及び新開ココフレンドの延べ参加人数は、前年度と比較して野寺ココフレンドが551 名、新開ココフレンドが315名の増加となった。
    - ・ 東北ココフレンドは、登録児童数は若干減ったが、延べ参加人数は616 名増と大幅に増加しており、1人当たりの参加頻度が増えている。
    - ・ 夏休みの参加人数は、増加したココフレンドが多く、午後も開室しているココフレンドでは、1日参加の児童が多かった。
    - ・ 夏休みのイベントとしては、市で用意した英語・ダンス・科学実験の特別講座のほか、十文字学園女子大学による食育講座、スポーツ推進委員によるラケットテニス、ジュニアリーダーによるかるたレク、民間企業の社会貢献活動によるプログラミング教室、地域の方々やスタッフによるイベントを実施し、大変好評であった。
    - ・ ココフレンドの長期休業中の午後開室初年度とその前年度の放課後児童 保育室の夏入室者数を比較すると、多くの学校で夏入室者数が減少してい る。ココフレンドの夏休みの参加人数の増加と放課後児童保育室の夏入室 者数の減少から、夏休みについては、ココフレンドが放課後児童保育室に

代わる受け皿にもなり得たと考えられる。

## ○各ココフレンドの活動状況報告

(東野、東北、野寺、大和田、八石、西堀ココフレンドについては、コーディネーターから報告、石神、新堀、四小、栗小、新開、栄、新座ココフレンドについては、事前にいただいた報告を資料に掲載)

## 〈東野ココフレンド〉

- ・ 7月の平均参加人数が95名、夏休み中の延べ参加人数は2,000 名を超え、たくさんの子どもたちが参加している。スタッフは5名~6 名で協力して見守ってくれている。
- ・ 冬時間になり、平日の参加人数は60名前後で、その内30名~40 名が1年生である。
- ・ 昨年度までは、放課後児童保育室との二重登録の児童の参加は2名~3名であったが、今年度は7名~8名、多い日は10名以上の参加がある。放課後児童保育室をやめる児童も増えてきている。
- ・ 家庭の事情により、様々な子どもたちが参加している。スタッフと情報交換をしながら注意深く子どもたちと接している。また、保護者から相談を受けることもある。アドバイスなどはできないが、保護者の気持ちに寄り添い、話を聴くことにしている。

#### 〈東北ココフレンド〉

- ・ 最近は40名~50名程度の参加で、そのうち1、2年生が30名~40名と多く、5、6年生が10名前後参加している。3、4年生の参加はほとんどない。長期休業日のみ参加する児童も多い。
- ・ とても元気だった1年生が、2学期になり落ち着いた活動ができるようになった姿を見ると、コーディネーターもスタッフも大変嬉しく思い、 やりがいを感じる。
- ・ スタッフ研修会終了後に、東北ココフレンドのスタッフが集まり、 12月4日(木)に行われる放課後児童保育室との合同避難訓練の詳細、 エピペンの扱い方等、緊急時の対応について話し合った。
- ・ 不審者情報や日没が早いこともあり、最近はお迎えが多い。これまではお迎えを喜ぶ子どもたちが多かったが、冬時間になり遊ぶ時間が少ないので、保護者がお迎えに来てもなかなか帰ろうとしない様子が見られる。また、迎えに来た兄姉がココフレンドの子どもたちと一緒に遊んでしまうこともある。
- スタッフの見守り場所は平等にローテーションを組んでいるが、暑さ、 寒さなどによる要望が出ることがあった。スタッフの間で何度か話合い が行われ、「大切なことは、子どもたちを第一に考え目を向けることで ある」、と意見がまとまったようである。

#### 〈野寺ココフレンド〉

- ・ 今年度の夏休みから1日開室となり、無事に過ごすことができた。夏 休みの反省を生かして冬休みに臨みたい。
- · 今年度、生涯学習スポーツ課が行ったアンケートは、野寺ココフレンドでは保護者と児童の両方を対象に行われた。子どもたちがどんなこと

を求めているのか、たくさんの声を聴くことができた。これからの活動 の参考にしていきたい。

- ・ 10月には毎年恒例のハロウィンのイベントを行った。たくさんの子 どもたちが参加するので、昨年度から2週間に渡り毎日開催することに した。準備はとても大変だったが、子どもたちや保護者からたくさんの お礼の言葉をいただき、スタッフー同大変嬉しく思った。次のイベント に対する意欲につながっている。
- ・ 冬時間になり、11月は参加人数が30名以下になることが多くなった。参加が少ないと遊びに活気がなくなるが、大人の目が行き届くので、 手芸のようなこの時期にしかできないことができる。
- ・ 冬時間は、お迎えのある児童は午後4時50分までスタッフルームで 遊ぶことになっているが、だんだんとお迎えの時間が早くなり、寂しい 状況である。

## 〈大和田ココフレンド〉

- ・ 3年目を迎え、ココフレンドとしての生活のリズムができ、子どもたちもココフレンドの生活に慣れてきたように思う。
- ・ 今年度は1年生の参加がとても多く、2学期の始めまでは、1年生だけで30名を超える日が多かった。1年生と2年生以上に分け、2部屋で活動している。冬時間になり、11月半ば頃から参加人数が40名以下になることが多くなってきて、落ち着いた活動になっている。
- 見守りに注意が必要な児童も何人か参加しているが、学校と連携を取り、アドバイスをいただきながら対応している。
- ・ イベントは長期休業中を中心に行っているが、中にはイベントに参加 したがらない児童もいる。
- ・ スタッフの言葉で、気分が落ち込んでしまった児童がいた。子どもによってそれぞれ受け取り方が違うので、気を付けて接することをスタッフと再確認した。
- ・ スタッフ手作りのクリスマスのしおりや紙飛行機を、子どもたちにプレゼントする予定である。スタッフが自分の特技を生かして、子どもたちのために自主的に考えてくれることに大変感謝している。

#### 〈八石ココフレンド〉

- ・ 2学期に入ってから参加人数が少ない曜日がある。特に冬時間になってからは、お迎えを待つ子が1人になってしまうこともあり、寂しい状況である。
- ・ 校庭の工事が続いているので、子どもの安全確保のために校庭は使用 せず、主に体育館とスタッフルームで活動している。
- ・ 今年度は、学校と放課後児童保育室との三者で集まる機会を設け、情報共有をしているので、連携が大変スムーズである。
- ・ 先日、出前講座で行ったブラジル講座に、放課後児童保育室の児童に も参加してもらった。大変賑やかな楽しい講座になった。
- 月に2、3回、季節に合った工作イベントを行っている。自由参加とし、希望者のみ別室で活動している。
- · 2年生以上の参加児童は、ほぼ顔ぶれが決まってきている。

## 〈西堀ココフレンド〉

- ・ 今年度からの開設で、1学期は参加人数が50名前後と多く、スタッフも不安そうであったが、2学期になってからは参加人数が30名程度になり、子どもたちが慣れてきたこともあり、順調に活動できている。
- ・ 夏休み中のイベントは、市で用意していただいた講座のみだったが、 10月に入ってからは、月に3回程度、読み聞かせや工作のイベントを 行えるようになった。帰りの会や掲示物でイベントの予告をしている が、参加は自由である。
- ・ 冬時間になり、参加児童のほとんどが1年生~3年生である。高学年 が参加しても活動時間が短いため、学習時間を設けずに自由時間にして いる。
- ・ 冬時間のお迎えは、毎日2、3名で、ほとんど同じ方面の児童で下校 している。
- ・ スタッフの中に折り紙や手作りの物が得意な人がおり、季節に合わせた工作や掲示物の制作を行っている。スタッフルームの掲示物が大変充実している。
- ・ 毎月1回、学校、放課後児童保育室、シダックスとの四者で情報交換 をしており、様々な課題や問題についての対応を話し合っている。うま く連携が取れていると感じている。
- PTAの広報紙にココフレンドの特集が組まれることになっている。
- 現在、スタッフルームが3階にあるが、学校や教育委員会の御配慮で、 来年度は1階に移る準備をしていただいている。
- (2) 子どもの放課後居場所づくり事業アンケート実施及び結果について<u>資料 2</u> (説明:藤田主任、福田主事)
  - ・ 今年度は、長期休業日に1日開室している野寺、栗小、大和田、栄、西堀及び新座の6校の保護者、長期休業日に午前のみ開室している四小の保護者、野寺、西堀及び新座の3校の児童に対し、9月4日(水)~9日(月)にアンケートを実施した。
  - ・ 保護者のアンケートには、「登録料について」と「下校方法について」 の設問を、児童アンケートには、「遊んでいる場所」と「どのように過ご しているか」という設問を新たに設けた。
  - ・ 夏休みに1日開室したココフレンドでは、1日を通して参加した児童が 大幅に増加している。また、イベント実施日のみ参加したという回答が 20%となり、イベントの需要の高さがうかがえる。
  - ・ 長期休業日に午前のみ開室の四小ココフレンドでは、夏休みに1日も参加しなかった児童が53%で、一日開室のココフレンドと比較すると20%程度多くなっている。
  - ・ 登録料の見直しの設問では、「金額によるが、見直しがあってもよい」が662人と、最も多くなった。また、すでにイベント実施の際に材料費を集金している野寺ココフレンドでは、現状維持でよいという意見が多く見られた。長期休業中に午前のみ開室の四小ココフレンドでは、1日開室されるのであれば値上げしてもよい、という意見が多く見られた。
  - ・ 登録料の適正な価格についての具体的な金額の設問では、現状維持の回答が455人となり、実際に値上げすることになった場合には、抵抗を感じる人が一定数いると予想される。一方、値上げした場合にも、参加頻度

は変わらないという回答が半数以上になった。

- ・ 下校方法については、半数程度がお迎えなしで、同じ方面の児童と下校 していることがわかった。
- ・ 児童対象のアンケートで、自由時間にどこで遊ぶかという設問では、半 数以上が体育館と回答している。また、校庭、体育館での人気の遊びは、 集団での遊びとなった。
- ・ 夏休みのイベントは、「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」が96% となった。またやりたいイベントでは、「工作」という意見が最も多かっ た。

委員長 登録料の見直しについての設問を設けたのは、何か意図があるのか。 事務局 ココフレンド事業の内容の維持、また、要望の多いイベントの充実を 図る上で、今後見直しの必要性が生じる可能性もあるということで用意 した設問である。

- (3) 新規開設校について資料3 (説明:藤田主任)
  - ・ 第4次新座市基本構想総合振興計画後期基本計画に基づき、令和2年度 までに全17小学校での開設を目指し、残り4校の片山小学校、野火止小 学校、池田小学校及び陣屋小学校に新たにココフレンドを開設することで 予算計上している。
  - ・ 片山小学校は1階玄関前の「学習交流広場」、野火止小学校は1階東昇降口隣りの「のびのびルーム」、池田小学校は1階「やまざくら1組」、陣屋小学校は1階「2年2組」を使用させていただく予定である。
  - ・ 今年度、長期休業日に午前のみ開室の石神ココフレンド、新堀ココフレンド及び四小ココフレンドについても、来年度は他のココフレンドと同様に、長期休業日は午前8時45分~午後4時30分まで開室する予定である。
  - ・ 学童入室に係る就労条件の変更に伴い、ココフレンド利用者の増加も見 込まれるため、コーディネーターの賃金、教育活動サポーターの謝礼金に ついても増額して予算計上しているところである。
- (4) その他(説明:福田主事、藤田主任)(資料P30) 資料のとおり今後の予定について説明。
  - 〇 令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を、大和 田ココフレンドが受賞し、12月2日(月)の表彰式に森田コーディネー ターが出席予定である。

<u>委員</u> ココフレンドの下校時に広がって歩いている様子が見られる。大変危険なので、ココフレンドで下校時の交通指導をしていただきたい。

<u> 委員長</u> ココフレンドに保護者からいろいろな相談が寄せられるということ だが、新座市教育委員会では相談室を設けているので、複雑な案件は連 絡していただけるとよい。

4 閉会(天倉主任)